

# 日本大学三島高等学校 同窓会会報 第39号



日本では昨年、自民党政権が崩壊し、民主党の鳩山首相を中心とする連立政権が誕生しました。日本社会は変化を期待するものの、いまだ経済は安定せず、たいへん厳しい状況にあります。早い景気回復を、安心・安全が保たれた穏やかな社会を期待するこのごろですが、同窓生の皆様はいかがお過ごしでしょうか。

昨年、私は日本大学三島高等学校同窓会を代表して、母校の新校舎1期工事の完成を祝うとともに、50周年記念式典に参加しました。当日は日本大学総長・理事長を迎えて、たいへん盛大に実施されました。多くの人材を育て、社会に輩出する学校として母校のさらなる発展を期待しております。

ところで、日本大学三島高等学校は、第1期の卒業生を出してから50年。今年で50回目の卒業式を行います。同窓会は新たに第50期生の同窓生を迎えるとともに、晴れて設立50周年を迎えることになりました。長年、積み重ねてきた同窓生の数も今年で5万人を超えます。その中には行政の首長としてリーダーシップを發揮する人、スポーツ界での活躍が目覚しい人、さらに各地域社会で貢献され、いろいろな形で活躍される人たちがいます。こうした日本大学三島高等学校の同窓生が、多方面で活躍される姿は心強く感じるとともに、絆の大切さを実感しております。

そこで同窓会では節目を迎えた今年、毎年行っている2月の同窓会入会式を拡大して、日本大学三島高等学校同窓会設立50周年記念式典を母校8号館において実施しました。当日は三島市長をはじめとしたご来賓の方々をお迎えしました。

また母校で長年、勤められ退職をされた恩師の先生をお招きし、母校の先生方、同窓会各支部から呼びかけに応えて集まつた同窓生の皆様、そして新入会員として新たに迎える736名の50期生など1000名以上の人たちとともに、お祝いしました。思い起こすと今から50年前、私たち第1期生の高校生のころというのは、現天皇陛下のご結婚や東京タワーの建設、伊豆地方が大きな被害を受けた狩野川台風などの話題がありました。その後、日本は高度経済成長期に入り、東京オリンピック・大阪万博の開催などを経て、豊かな生活を獲得しました。母校では次々と校舎が建てられ、多くの人々が学び巣立って行きました。積み重ねてきた歴史、5万人を超える同窓生の数は大きな財産です。これからも同窓会は、母校日本大学三島高等学校とともに歩み、支えていきます。

同窓会では昨年よりホームページを開設しました。(URLは会報6ページに記載)現在、同窓会会報を始めとして、母校や同窓会の情報を集めて掲載しています。これからホームページには母校生徒や同窓生の活躍の様子、また同窓会の活動予定や支部活動の様子をお知らせするなど、情報発信を随時してまいります。ご協力をお願いします。

最後に同窓生の皆様のご多幸を祈り、今後とも母校の発展、同窓会の発展のご支援をいただきますようお願い申し上げます。





第50期卒業生の皆さん、ご卒業おめでとうございます。日本大学三島高校は、創設50周年記念式典を無事に終え、記念すべき50期生である皆さんも同窓会に入会され、5万人の同窓の仲間入りを致しました。

5万人を有する日本大学三島高校同窓会は、日本大学三島高校の発展とともに、更に大きな力として母校を支援して戴くことになります。

同窓生としての使命感を持ち、多くの先輩たちが、今まで同窓会を支えてこられました。母校愛による無私の精神が、同窓会を大きく育てる力になってきました。

歳月を重ね、懐かしくも大切な人生の母体である事を痛感するものが、母校の存在であり、同窓会なのです。

更に、本校の大きな樹木の下で共有した、同志としての愛着が育まれます。母校で学んだ「志」は、社会に出てからの大きな蓄積となり、北斗七星になります。

そして、同窓会は、社会に出てから大きな無償の母の愛と同じ効用を与えてくれる場所となります。

仲間がいれば、先輩、後輩であれば、助け合うのも人情でしょう。リレーションはいろいろな形で発生するものであります。同じ学校で学んだ「学窓の絆の力」は、やがて共有する懐かしい青春の1頁を開き合い、語り合う事が出来ることになるでしょう。

現在は、政治も経済状況も、学問も、就職も、地域社会への回帰の様相を深めております。であるからこそ、同窓の仲間が力になるはずです。勿論、母校の発展が必須条件です。50期生のチーム力が、5万人の仲間とリレーションを築きあげた時こそ、本当の意味での高校教育、青春時代であったことを理解出来るでしょう。同窓会は青春を取り戻す掛け替えのないポジションを持つとも言えるのです。

50周年記念式典当日には、全面の静岡新聞広告として、「同窓5万人のバトンリレー」のスローガンを掲げました。多くの方に見て戴き、励ましの言葉をいただきました。

本校の教育の歴史は、同窓生の活躍に比例するものであることを痛感させられました。

教育の真の評価が、同窓5万人の活躍に如実に示されているということが証明できたのです。

在校生には、コミュニケーション力を力説しますが、生きてゆく限り、人と人との協調やリレーション力こそがエネルギーになり、それはそのまま、社会力になるものです。

社会でどのように生きてゆくか、教育の期待するところは、基礎的学力と人間力、そしてそれらを叶えるエンジン力、つまり「意欲」そのものであります。

母校は、今後も、意欲を引き出す教育を目指します。

## 日本大学三島高等学校創設50周年記念式典

平成21年10月26日（月）

新校舎第1期工事の完成を祝うとともに、日本大学三島高等学校創設50周年記念式典と祝賀会が8号館講堂を中心にして開かれました。日本大学総長・理事長をはじめ、日本大学各学部ならびに付属各高校関係者など多数のご来賓の方をお迎えし盛大な会となりました。当日はあいにく雨となりましたが、教職員一同また代表生徒ができる限りのおもてなしを行いました。すでに9月より使用が始まった新校舎の見学会も実施され、見学者からは広く明るくなった廊下や他の学校に見られない数多くの生徒の憩いのスペースや団欒の場、

面談室の多さなど、最新のきれいな施設に感嘆の声が上がりました。同窓会室は1階入口付近に設置され、会議などの使用も可能になっています。同窓生の皆様も一度、来校され見学をしてみてはいかがでしょうか。

またこの式典に合わせて作成が進んでいた日本大学三島高等学校50周年記念誌は、『桜陵五十年』と題し完成しました。式典当日、お披露目され、関係者に配付されました。同窓会もいっしょに記念誌の作成に関わり、同窓会の記念誌にもなっています。皆様も一度、ご覧になって下さい。



日本大学総長酒井健夫先生の式辞



新校舎第1期工事の完成



## 新入会員の言葉

### 「同窓会入会を喜ぶ」

生徒会長  
新江 望

日を重ねるごとに春の訪れを感じられるようになりました。この度、卒業と同時に私たち50期生は日本大学三島高等学校同窓会に入会させていただくことになりました。今、私たちが伸びやかに学校生活を送るのは歴代の先輩たちのお陰であり、伝統ある学校の卒業生として、これからも本校に携わることの喜びを感じます。

日本大学三島高等学校で過ごした3年間は一瞬にして過ぎ去ってしまったと思うほど経過の速さを実感します。一方、高校生活の3年間は、誰もが辛い経験や嬉しいできごとなど様々な事を体験したと思います。今となってはどれも良き思い出となっています。

これからも続く長い人生の中の1ページではありますが、いつまでもたくさんの友達や先生と共に過ごした3年間を色あせぬ思い出として残して欲しいと心から願います。



## 新入会員を迎える

### 「まだ、これから」

第43期生  
下妻 祐貴

本校を卒業して7年が経ちました。楽しい時間は早く過ぎ、苦しい時間は遅く感じられるものです。もう7年。まだ7年。思い出すのは決まって苦しい時間を過ごしたときのことです。

大学3年の夏。友人が就職活動を始めたことをきっかけに、焦りから教員採用試験に向けた勉強をスタートさせました。その道は遠く、先の見えないものでした。試験を受けるにあたって友人と遊ぶ時間や自由な時間を一切つくらず、ひたすら勉強に励むことにしました。友人には「勉強なんてしたって意味がない」「ノリが悪い」などと言われたこともあります。それでも不思議とその言葉には腹を立てる事はありませんでした。真剣に取り組んでいることが否定されても、決意が揺らぐことはないからです。勉強に対して精一杯の努力をしたことのなかった私が8カ月もの間、本気で取り組むことができました。そこには語りつくせないほどの苦労があり、だからこそ、今の自分があるのだと思います。

昔からの友人はみな、教師になった私に驚きます。先生方に迷惑ばかりかけ、勉強で努力することのない学生時代でしたので無理もないでしょう。友人が否定するのもわからなくありません。ただ、本気になれば変わることができます。

誰にでも人生の岐路に立たされるときがあります。そのときに自分というものを貫き通せるか、それとも目先の楽しさに流されてしまうのか、心の強さが試されます。人生において1度は本気で取り組むことがあってもいいでしょう。きっと、新しい自分に出会えるはずです。

未来ある50期生の皆さんとのこれから活躍を期待しています。



## 第50期生 幹事一覧

代表幹事 新江 望(3組)

### クラス幹事

1組 小村 誠	12組 齋藤謙太郎
2組 植松 俊紀	13組 阿部 美波
3組 新江 望	14組 藤野 佑基
4組 高橋 翔	15組 望月 浩喜
5組 高橋 宗士	16組 佐々木 傑
6組 渡辺あゆみ	17組 福原 誠人
7組 神宮 大知	18組 瀬戸 将之
8組 天野 夕夏	19組 青木 花奈
9組 久保田智大	20組 吉村 美穂
10組 梅原 駿	21組 中村早由里
11組 山中 直樹	

## 同窓会役員一覧

役職	氏名	支部長	氏名
会長	今井 信之(1期)	三島	渡邊 昌宏(11期)
副会長	渡邊 博夫(2期)	沼津	高木 淑夫(2期)
//	川口 功一(3期)	田方	内田 敏明(3期)
//	藤幡 俊量(11期)	裾野	眞田 正義(1期)
副会長・女子部会長	石橋 倍子(4期)	御殿場	高杉 忠(1期)
幹事長	瀧口 文昭(6期)	富士	日置 信弘(3期)
副幹事長	庄司 一洋(7期)	富士宮	秋山 一雅(3期)
//	山本 弥之(4期)	静岡	小澤 薫(9期)
//	三浦 正康(9期)	熱海	谷口 俊司(2期)
会計監査	永井 嘉太(2期)	小田原	川口 功一(3期)
//	柳田 和夫(10期)		

## 平成21年度 事業報告

### 1. 総会 平成21年10月16日(金)三島プラザホテル

- (1) 会長挨拶 同窓会会长 今井信之氏
- (2) 来賓挨拶 日本大学国際関係学部学部長 佐藤三武朗先生  
日本大学三島高等学校・中学校校長 仁藤芳治先生
- (3) 議事
  - ①平成20年度事業報告 ②平成20年度決算報告
  - ③平成21年度事業計画 ④同窓会設立50周年記念行事等について
  - ⑤平成21年度予算
- (4) 懇親会(ピアノ弾き語り・アトラクション)

### 2. 幹事会・役員会

- (1) 平成21年3月25日(水) 大会議 幹事会  
ホームページ開設・同窓会設立50周年記念事業
- (2) 平成21年5月12日(火) 大会議室 幹事会  
ホームページ開設・同窓会設立50周年記念事業
- (3) 平成21年6月10日(水) 大会議室  
本部顧問・役員・幹事会・同窓会誌編集委員会  
表彰の選考基準・選考の具体的方針
- (4) 平成21年7月14日(火) 大会議室  
本部顧問・役員・幹事会・同窓会誌編集委員会  
同窓会設立50周年記念行事・平成21年度総会
- (5) 平成21年9月7日(月) 大会議室  
本部顧問・役員・幹事会・同窓会誌編集委員会  
同窓会設立50周年記念行事・平成21年度総会
- (6) 平成21年10月6日(火) 大会議室  
本部顧問・役員・幹事会・同窓会誌編集委員会  
平成21年度総会・同窓会設立50周年記念行事

### 3. 事業

- (1) 平成21年2月14日(土) 母校8号館3階  
 ①第49期生同窓会入会式 (632名入会)  
 奨学金 一宮亜沙子(3-18) 鶴谷勇気(3-13)
- ②記念講演会 講師:関口 伸「言葉と文化」
- (2) 平成21年2月28日(土) 同窓会会報発行 第38号
- (3) 平成21年5月18日(日) 本校公認50mプール  
ウォーターポーイズ公演
- (4) 平成21年10月3日(金)  
三島市ゆうゆうホール(大ホール)  
仙台フィルハーモニー管弦楽団公演
- (5) 平成21年11月12日(水)  
三島市ゆうゆうホール(大ホール)  
船越英一郎(俳優・本校OB)トークショー

### 4. 支部総会(開催順)

- (1) 田方支部  
総会 平成21年 2月14日(土) 伊豆洋らんパーク
- (2) 富士支部  
総会 平成21年 5月15日(金) ロゼシアター
- (3) 女子部  
総会 平成21年 5月17日(日) 母校桜陵祭
- (4) 静岡支部  
総会 平成21年5月22日(金) ホテル プリヴェ 静岡ステーション
- (5) 三島支部  
総会 平成21年 5月22日(金) J u n
- (6) 沼津支部  
総会 平成21年 7月10日(金) 焼肉 一番
- (7) 梶野支部  
総会 平成21年 7月12日(日) 割烹旅館勢力
- (8) 御殿場・小山支部  
総会 平成21年 9月18日(金) ホテル御殿場館21
- (9) 小田原支部  
総会 平成20年11月29日(土)…湯本富士屋ホテル

### 5. その他

- ①1期生ゴルフコンペ 平成21年10月 8日(木) 薩摩カントリークラブ
- ②同窓会ゴルフコンペ 平成21年10月25日(日) 朝霧カントリークラブ

## 同窓会総会 平成21年10月16日(金) 於 三島プラザホテル

同窓会総会を平成21年10月16日(金)に三島プラザホテルにて開催した。来賓には日本大学国際関係学部長佐藤三武朗先生、母校校長仁藤芳治先生をお招きしての会となつた。総会では平成21年度事業の中で最大の行事である同窓会設立50周年記念行事等の議題が話し合われた。懇親会では、会長のあいさつに始まり、還暦を迎えた方々への記念品贈呈や富士支部によるアトラクション、また今年は同窓生の竹中敏子氏によるピアノ弾き語りもあり、和やかに進んだ。(なお、議事については、事業報告をご参照下さい。)



竹中敏子氏と  
ピアノ弾き語り

## 同窓会入会式・記念講演 平成22年2月20日(土)

同窓会入会式を母校8号館講堂にて行いました。今年は同窓会設立50周年記念式典とともに実施され、第50期生736名を迎えました。入会式では同窓会長による新入会員への歓迎のあいさつがあり、卒業記念品を贈呈しました。また同窓会表彰規定により奨学金を林怜華さん、西村公太君に渡しました。また部活動の顕著な実績を認め、山下寛君と囲碁将棋部に奨励金を贈りました。

入会式後の記念講演は、50周年記念講演とし、講師に本校卒業第17期生で、現在、サッカー解説者として活躍される山本昌邦氏をお迎えして実施しました。テーマは「夢をもって生きて行こう！」。サッカー日本代表コーチやアーテネ五輪サッカー日本代表監督を務められた山本さんの話に、生徒は興味深く、熱心に聞き入っていました。



奨学金授与

山本氏による記念講演

# 日本大学三島高等学校同窓会設立50周年記念式典

平成22年2月20日(土)  
母校8号館講堂

同窓会設立50周年記念式典を、三島市長や日本大学国際関係部長などのご来賓や退職された恩師、諸先生方を招き、また新入会員となる50期生や同窓会各支部から集まった同窓生などとともに盛大に実施しました。

式典では、同窓会長による式辞、ご来賓の方の祝辞、卒業生を代表して1期生でもあり、同窓会長を務め、現在、顧問である高田菊平氏が祝辞を述べました。また50周年にあたり同窓会では、母校日本大学三島高等学校の名前を高めた方々に栄誉賞を、同窓会活動において顕著な功績のあった方々に特別功労賞を、長年、本部役員や支部役員を務め、同窓会本部・支部の活動を支え尽力された方々を功労賞として表彰し、式典の中で披露されました。

式典後には祝賀会が実施され、和やかに進みました。恩師の先生方を交え、伝統ある母校の懐かしい話も飛び出し、たいへんに盛り上がる祝賀会となりました。



祝賀会の一コマ



山本昌邦氏と握手



表彰光景



高田氏による祝辞

日本大学三島高等学校 同窓会規約	
第二章 総 則	
第一条 本会は日本大学三島高等学校同窓会と称する。	第四節 事務局
第二条 本会の事務所は、これを日本大学三島高等学校内に置く。	事務局は幹事会より委嘱された者をもつて構成する。
第三条 本会会員は、日本大学三島高等学校の卒業生をもつて正会員とし、現教職員および元教職員をもつて特別会員とする。	第五節 編集委員会 編集委員会は幹事会に所属し、原則として年一回の会報発行、その他、本会運営上、必要な広報の役にあたる。
第四条 本会は、母校建学の精神にのっとり会員相互の親睦と融和を図り、母校の發展興隆に寄与することを目的とする。	第六条 本会は、前条目的達成のために左の事業を行なう。
第五条 本会は、前条目的達成のために左の事業を行なう。	第一節 組合会 一、会員相互の親睦と融和をはかるための各種行事 二、母校の發展興隆に関する各種行事へ協力・参加 三、その他 目的達成のために必要な諸事業
第六条 本会は、事業遂行のため左記の機関を置く。	第二節 機関 第一、総会 第二、幹事会 第三、支部会 第四、事務局 五、編集委員会
第七条 総会は、本会運営の最高決議機関である。総会の議事は出席会員の過半数をもってこれを決する。但し、必要により各支部を代表する支部長をもつて、総会の決議にかかることができる。	第三節 役員 第一、幹事会 第二、幹事会の推薦により、総会の決議をもつて選出する。会長は本会を統理し、副会長はこれを補佐する。幹事長は幹事会を代表し、本会運営の責任を負う。
第八条 総会は、本会運営についての立案実行の一切の事務を幹事会に委嘱する。	第三、幹事 幹事は各卒業学年の代表者が当たり、学年の意見を代弁し併せて会務を分担する。
第九条 総会は、毎年一月一日より翌年三月三十一日までの年一度回、会長がこれを招集し、幹事会、会計監査の所管事項の報告をうける。但し、緊急を要する事項に關し、会長が認めた時、又は会員多数の要求があった場合、会長は臨時に招集しなければならない。	第四、幹事会 幹事会は、運営機関として左記の事項を立案し、幹事会の承認を経たのちこれを実行する。
第十一条 幹事会は、幹事会は幹事会で行ない、年三回以上、原則として過半数の幹事出席のものと開催する。また、幹事長は幹事の三分の一以上の要求があった場合は、臨時に幹事会を招集しなければならない。	第五、幹事 幹事会には幹事長、名、副幹事長二名、庶務・会計各一名、その他必要とする役職を置き幹事会の互選により選出する。
第十二条 幹事会は、幹事会を設けることができる。常任幹事会は幹事会の役職員ならびに常任幹事によって構成され、必要により幹事会にかかることができる。	第六、幹事 規約の改廃 四、その他 四、その他の第五条によつて必要と認めた事項。
第十三条 支部会は、各地区に支部会を設け、本会の目的達成の推進を図る。	第七、幹事 幹事会は本会運営上、必要と認めた場合に臨時に特別の機関を設けることができる。
第十四条 支部の運営については、本規約に準じ細則は各支	第八、幹事 幹事会は本会運営上、必要と認めた場合に臨時に特別の機関を設けることができる。
部によるものとする。	第九、幹事 幹事会は本会運営上、必要と認めた場合に臨時に特別の機関を設けることができる。
第十五条 事務局は幹事会のものと本会運営を円滑ならしめるよう務める。	第十、幹事 幹事会は本会運営上、必要と認めた場合に臨時に特別の機関を設けることができる。
第十六条 事務局は幹事会より委嘱された者をもつて構成する。	第十一、幹事 幹事会は本会運営上、必要と認めた場合に臨時に特別の機関を設けることができる。
第十七条 編集委員会は幹事会に所属し、原則として年一回の会報発行、その他、本会運営上、必要な広報の役にあたる。	第十二、幹事 幹事会は本会運営上、必要と認めた場合に臨時に特別の機関を設けることができる。
第十八条 編集委員会は幹事会より委嘱された者をもつて構成する。	第十三、幹事 幹事会は本会運営上、必要と認めた場合に臨時に特別の機関を設けることができる。
第十九条 本会は左記の役員を置く。	第十四、幹事 幹事会は本会運営上、必要と認めた場合に臨時に特別の機関を設けることができる。
第二十条 会長、副会長若干名、幹事長一名、副幹事長若干名、常任幹事（支部会の代表者）、幹事（各期の代表者）、女子部幹事（若干名）、会計監査二名	第十五、幹事 幹事会は本会運営上、必要と認めた場合に臨時に特別の機関を設けることができる。
第二十一条 幹事長は幹事会を代表し、本会運営の責任を負う。	第十六、幹事 幹事会は本会運営上、必要と認めた場合に臨時に特別の機関を設けることができる。
第二十二条 幹事長は幹事長を補佐する。	第十七、幹事 幹事会は本会運営上、必要と認めた場合に臨時に特別の機関を設けることができる。
第二十三条 幹事会は各卒業学年の代表者が当たり、学年の意見を代弁し併せて会務を分担する。	第十八、幹事 幹事会は本会運営上、必要と認めた場合に臨時に特別の機関を設けることができる。
第二十四条 常任幹事は各地区支部会の代表者が当たり、地区的意見を代弁し併せて会務を分担する。	第十九、幹事 幹事会は本会運営上、必要と認めた場合に臨時に特別の機関を設けることができる。
第二十五条 幹事会は、会計監査において提出し、経理の監査にあたり、総会にその旨を報告し承認をうける。	第二十、幹事 幹事会は本会運営上、必要と認めた場合に臨時に特別の機関を設けることができる。
第二十六条 各役員は総会の承認を経て、その任にある。任期は二年とする。但し、重任はさまたげない。	第二十一、幹事 幹事会は本会運営上、必要と認めた場合に臨時に特別の機関を設けることができる。
第二十七条 本会の経費は会費ならびに寄附をもつてこれに当てる。	第二十二、幹事 幹事会は本会運営上、必要と認めた場合に臨時に特別の機関を設けることができる。
第二十八条 正会員は卒業時に終身会費一円を納入する。	第二十三、幹事 幹事会は本会運営上、必要と認めた場合に臨時に特別の機関を設けることができる。
第二十九条 本会の会計年度は四月一日より翌年三月三十一日までとする。	第二十四、幹事 幹事会は本会運営上、必要と認めた場合に臨時に特別の機関を設けることができる。
第三十条 本会の貢献したものは会長が幹事会の議により、承認を得、これを表彰することができる。	第二十五、幹事 幹事会は本会運営上、必要と認めた場合に臨時に特別の機関を設けることができる。
第三十一条 会員として名譽を毀損する行為があつたときは、会員が幹事会の議を経て総会の承認をえ、これを除名することができる。	第二十六、幹事 幹事会は本会運営上、必要と認めた場合に臨時に特別の機関を設けることができる。
第三十二条 本会に顧問をおくことができ、顧問は会長がこれを委嘱し、本会運営上の諮問に応える。	第二十七、幹事 幹事会は本会運営上、必要と認めた場合に臨時に特別の機関を設けることができる。
第三十三条 規約の改廃については幹事会の議により、総会の承認をして行なう。	第二十八、幹事 幹事会は本会運営上、必要と認めた場合に臨時に特別の機関を設けることができる。
第三十四条 制度施行昭和三十六年三月十一日	第二十九、幹事 幹事会は本会運営上、必要と認めた場合に臨時に特別の機関を設けることができる。
第六章 附 則	第三十、幹事 幹事会は本会運営上、必要と認めた場合に臨時に特別の機関を設けることができる。
改正施行昭和四十七年四月一日	第三十一、幹事 幹事会は本会運営上、必要と認めた場合に臨時に特別の機関を設けることができる。
改正施行昭和五十三年四月三十日	第三十二、幹事 幹事会は本会運営上、必要と認めた場合に臨時に特別の機関を設けることができる。
改正施行平成十一年十月二十三日	第三十三、幹事 幹事会は本会運営上、必要と認めた場合に臨時に特別の機関を設けることができる。
改正施行平成十四年十月十九日	第三十四、幹事 幹事会は本会運営上、必要と認めた場合に臨時に特別の機関を設けることができる。
改正施行平成十七年十月二十一日	第三十五、幹事 幹事会は本会運営上、必要と認めた場合に臨時に特別の機関を設けることができる。
改正施行平成十八年十月二十日	第三十六、幹事 幹事会は本会運営上、必要と認めた場合に臨時に特別の機関を設けることができる。

## ご定年によって退職される先生方



神田 勝 先生

- 奉職年月日：昭和46年4月1日
- ご退職年月日：平成21年4月18日
- 教科：理科
- 主な校務：生徒会指導・教務
- 趣味：音楽鑑賞・写真
- 部活動の顧問：放送



橋本 倭 先生

- 奉職年月日：昭和42年4月1日
- ご退職年月日：平成21年6月2日
- 教科：英語
- 主な校務：生活指導・生徒会指導・教務
- 趣味：ゴルフ
- 部活動の顧問：サッカー・男子バスケットボール



秩父 重昭 先生

- 奉職年月日：昭和44年4月1日
- ご退職年月日：平成21年11月23日
- 教科：地歴・公民
- 主な校務：生活指導・教務
- 趣味：釣り
- 部活動の顧問：剣道・郷土



露木 義行 先生

- 奉職年月日：昭和42年4月1日
- ご退職年月日：平成22年1月6日
- 教科：理科
- 主な校務：教務・生徒会指導・図書
- 趣味：旅行
- 部活動の顧問：化学・吹奏楽



河野 勝紀 先生

- 奉職年月日：昭和44年4月1日
- ご退職年月日：平成22年2月11日
- 教科：国語
- 主な校務：教務・図書
- 趣味：魚釣り
- 部活動の顧問：華道・演劇

神田勝先生は、生徒会指導主任や理科主任を務めました。長年、放送部顧問として生徒指導にあたり、特に全国大会制覇は先生の指導の力でした。

橋本倭先生は、学年主任や生活指導主任を務めました。部活動では長年、サッカー部顧問として生徒指導にあたりました。厳しくもユーモアのある先生です。

秩父重昭先生は、生活指導部主任、地歴・公民科主任を務めました。部活動では剣道部顧問として生徒の指導にあたりました。

露木義行先生は、理科主任を務め、長く本校活動の中心にいて活躍されました。

河野勝紀先生は、図書主任や国語科主任を務めました。温厚で明るくユーモアたっぷりの先生です。

先生方の今後のさらなるご活躍を心よりお祈り申し上げます。

### 第50期生同窓会入会金の納入のお願い

日本大学三島高等学校同窓会では、第50期生の入会にあたり、同窓会規約第28条にもとづいて、終身会費として1万円を納入することをお願いしています。方法については、高校卒業時に「諸経費預かり金」より納入することになりました。ご理解、ご了承くださいますようお願いします。



## 第11代高等学校・ 第3代中学校校長に 仁藤芳治先生が就任



平成21年4月1日付をもって、仁藤芳治先生が就任しました。長年、本校教諭として勤務され、教科は国語を担当されました。平成20年からは中学校教頭として重責を担い、今年度より本校校長となりました。先生のご活躍を同窓生一同、お祈りいたします。

## 中学校教頭に 加藤頌吾先生が就任



平成21年4月1日付をもって、加藤頌吾先生が就任しました。先生は長年、本校教諭として勤められ、教科は理科を担当されてきました。先生のご活躍を同窓生一同、お祈りいたします。



## 第10代高等学校校長・ 第2代中学校校長 高桑豊先生が退職



平成21年3月31日付をもって、定年を迎えた高桑豊先生が退職されました。高桑先生は長年、本校教諭として勤務され、教科は理科を担当されました。平成17年より第10代高等学校校長・第2代中学校校長に就任され、本校発展のためにご尽力されました。今後のさらなる活躍を心よりお祈りいたします。

## 日本大学三島高等学校 同窓会会報 第39号

平成22年3月1日発行 発行者：今井信之 編集：事務局

〒411-0033 静岡県三島市文教町2丁目31番145号

TEL 055（988）3500（高校事務課） FAX 055（988）3517

<http://www.nu-mishima-dousou.jp/>